

製品名: AHA-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06691**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	AHSA1
別名	AHSA1; C14orf3; HSPC322; Activator of 90 kDa heat shock protein ATPase homolog 1; AHA1; p38
遺伝子 ID	10598.0
SwissProt ID	O95433
免疫原	抗血清はヒト AHSA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

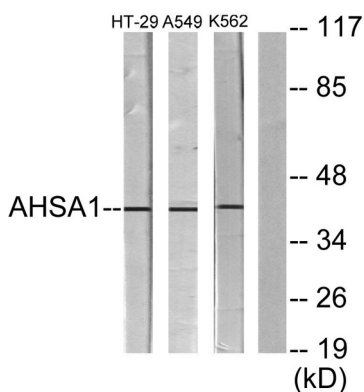
機能: HSP90 ATPase 活性を刺激するコシャペロン（類似性による）。小胞体からゴルジ体への輸送に至る過程に影響を与える可能

性がある。誘導：熱ショックおよび HSP90 阻害剤 17-デメトキシゲルダナマイシン (17AAG) 処理による。類似性：AHA1 ファミリーに属する。細胞内局在：小胞体と一時的に相互作用する可能性がある。サブユニット：HSPCA/HSP90 および水疱性口内炎ウイルス糖タンパク質 (VSV G) の細胞質側末端と相互作用する。GCH1 と相互作用する。組織特異性：脳、心臓、骨格筋、腎臓など、多数の組織で発現しており、肝臓や胎盤にも低レベルで発現している。機能：HSP90 ATPase 活性を刺激するコシャペロン (類似性による)。小胞体からゴルジ体への輸送に至る過程に影響を及ぼす可能性がある。誘導：熱ショックおよび HSP90 阻害剤 17-デメトキシゲルダナマイシン (17AAG) 処理による。類似性：AHA1 ファミリーに属する。細胞内局在：小胞体と一時的に相互作用する可能性がある。サブユニット：HSPCA/HSP90 および水疱性口内炎ウイルス糖タンパク質 (VSV G) の細胞質側末端と相互作用する。GCH1 とも相互作用する。組織特異性：脳、心臓、骨格筋、腎臓など、多くの組織で発現しており、肝臓や胎盤にも低濃度で発現している。

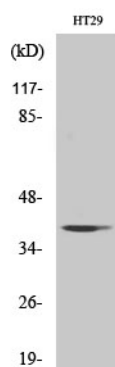
研究分野

シグナル伝達

画像データ



AHSA1 抗体を用いた HT-29、A549、K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AHA-1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。